

市東さんの農地を守ろう！ 裁判傍聴・千葉地裁包囲デモへ

9・3耕作権裁判

ー9・27請求異議裁判に集まろう



裁判に先立ち千葉地裁に向けてデモ行進（7月17日）



裁判後に行われた報告会で発言する市東孝雄さん

7月17日、千葉地裁民事第5部・高瀬順久（よしひさ）裁判長のもとで反対同盟の市東孝雄さんの農地明け渡し強制執行を阻む請求異議裁判が開かれました。

成田空港会社（NAA）による農地取り上げ強制執行が法律や憲法に違反していることを立証する学識者の意見陳述が行われ、裁判所を圧倒しました（詳細2面）。

次回、9月27日は弁護団による最終意見陳述と市東さん本人が再び意見陳述に立ちます。

9月3日には、NAAが文書を偽造し市東さんを不法耕作者と決めつけ100年耕す農地の明け渡しを求めている耕作権裁判が開かれます。

両日ともに千葉地裁を包囲するデモ行進を予定しています。裁判傍聴とデモ行進にぜひご参加下さい。

9・3耕作権裁判&千葉市内デモ

9月3日（月）

午前9時 葭川（よしかわ）公園集合 10時30分開廷 千葉地裁

9・27請求異議裁判&千葉市内デモ

9月27日（木）

正午 千葉市中央公園集合 午後2時開廷 千葉地裁

学識者2人が意見陳述「強制執行は違憲・違法」

7月17日、請求異議裁判で農業経済学者の石原健二さんと憲法学者の内藤光博さんが補佐人として意見陳述を行いました。その要旨を紹介します。

手本となる農業

日本は今、食料自給率37%。農業の現状はかつてない危機にある。



石原健二さん

今日の朝日新聞に「日欧EPA(経済連携協定)産地は警戒/10府県TPP11超える打撃」と出ている。61年に農業基本法ができ、自立経営農家の育成、農業構造改革が進められた。その中で三里塚にもシルクコンビナート構想が出てきたが、空港問題が発生し、専業農家は激減し、その後も農業政策は変転、農産物自由化、農薬・肥料問題の発生……一般予算における農業予算は2%、ついに日本の農政はなくなった。この中で、無農薬・有機栽培、露地栽培で安全な食物を通年、供給するという市東さんの農業こそ、手本にしていくべき農業だ。市東さんは6月28日の法廷で「うそをつかない」と言った。うそをつかない農業を生きる道だと確信している市東さんがうらやましい。市東さんの農地はこれからも守らなければならないし、強制的に奪ってはならない農地である。

過酷執行許さぬ

農業および営農が、人類の生存と平和を支える基本的条件であり、



肉藤光博さん

高度の「憲法的価値」および「憲法的公共性」を有することから考えると、農民には営農を行うに当たり強い憲法的保障、すなわち「営農権」と呼ぶべき基本的権利の保障がなされなければならない。

1971年に強行された土地収用法による大木(小泉)よねさんの土地・家屋に対する暴力的な強制執行の手法は、まさに生存の基盤である農地や住居を奪い去る「過酷執行」であり、生存権的財産権の侵害であった。

市東さんの場合、適用される法律が「土地収用法」ではなく「農地法」であっても、「小泉よね事件」の強制代執行と本質的には変わりはない。

市東さんの魂とも言える生存権的財産権としての農地を奪うことは、憲法13条の人間の尊厳を真っ向から否定するきわめて重要な憲法違反だ。土地収用法に代わって農地法をもってする憲法違反だ。

B滑走路での重大事故弾劾！

カナダ機誘導路誤侵入で立ち往生

7月30日午後3時40分頃、成田空港B滑走路に着陸したエア・カナダ機が建設工事中で使用できない誘導路に誤侵入し、天神峰の市東さん宅の目と鼻の先で停止し、乗員乗客を乗せたまま5時間以上身動きが取れなくなった。

B滑走路は6時間閉鎖。大幅に乱れたタイヤを取りつくろうために午前1時過ぎまで発着をくり返し深夜まで騒音をまきちらした。

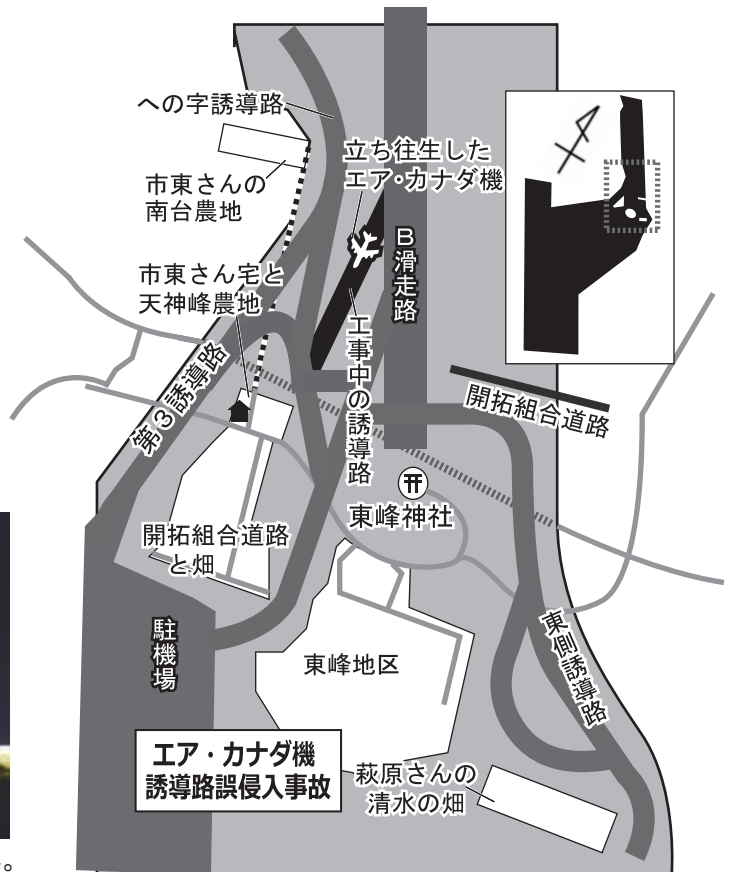
とんでもない重大事故であり絶対に許すことはできない。

今回の事故は「未買収地」があるにも関わらず無理やり空港建設をすすめたことが原因だ。誤侵入した建設中の誘導路は「空港機能

強化」のための高速離脱誘導路だ。住民の安全や生活を無視したつぎはぎだらけの空港建設・機能強化をただちに止めよ！



市東さんの天神峰畑にあるやぐらから午後8時頃撮影。作業が続くが機体は一向に動かず。(7月30日)



横田基地の現地調査に参加しました



横田基地の説明をする福本道男さん

7月15日、今年4月にオスプレイの配備が発表された横田基地の現地調査に参加しました。案内をしてくれた「横田・基地被害をなくす会」副代表の福本道男さんは、全国基地爆音訴訟原告連絡会議の事務局長です。

横田基地における夜間・早朝の離発着や落下物事故の問題は成田空港とも通底しています。安倍政権は成田を米兵50万人を受け入れる兵站基地に位置付けています。全国の反基地運動と連帯し、改憲・戦争の安倍政権を倒しましょう。

(反対同盟事務局・伊藤信晴)

地域住民の声

今回は芝山町の住民から市東さんをはじめとした反対同盟の闘いが空港会社による野放図な時間延長・空港拡張を阻止していることへの支持を表明する声が寄せられました。

◆市東さんが頑張っている姿に感動。国とNAAによる環境破壊は許せない。

芝山町 主婦（女性）

先祖代々受け継いできた農地を守るという当たり前前の思いを貫く市東さんを心から応援したい。生活している場所をフェンスで囲まれたり、畑に行くための道を奪われ遠回りを強いられても、農業を続けたいと頑張っている姿に感動している。先に住んでいる人がいるのに、強いものには従えという封建的で非民主的なやり方は許せない。

国とNAAはお金のために自然を破壊

しようとしている。芝山では窓を開けて風も通せない状況だ。空港ではなく自然との共存こそが本来の人間のあるべき姿。お金をもらったって認められない。

◆反対同盟の闘いが空港会社の横暴を阻んでくれている。

芝山町 農家（男性）

もし反対同盟が闘っていなければ南側に滑走路が伸びて芝山の騒音はもっとひどくなっていたはずだ。今でもエンジンから出る黒煙で2年おきにビニールハウスを変えなきゃいけない。健康にだっていいわけがない。こんなところで子育てができるのか。被害を受けるのは地元のわれわれだ。慣らされて、あきらめるわけにはいかない。空港騒音や排気ガスは当たり前じゃないということに反対同盟の存在があるから気づかされる。これ以上の拡張は必要ない。

ずっと農家をやってきたが、移転したらできなくなる。今さら他の仕事をやれと言われてもできない。市東さんが空港会社に負けずに無農薬で立派な野菜をつくっていることは本当にすごいことだ。

8・26天神峰カフェにご参加を



8月26日正午から、成田市天神峰の市東孝雄さん宅・離れで天神峰カフェを開催します。現地でとれた新鮮な野菜の手料理を囲みながらの意見交換や、市東さんの家の周りや第3滑走路予定地域のフィールドワーク（現地調査）を予定しています。誰でも参加できます。ぜひお気軽にお越しください。